

<先輩からのメッセージ>

Never Too Late

西川 由紀子

私は卒業後、日本アイ・ビー・エム(株)に入社しITエンジニアとして東京で働き始めました。3年半が経った頃、手厚い研修と金融システム構築プロジェクトの現場で培ったITスキルを国際協力の分野で生かしたいと思い、ボランティア休職制度を利用しJICA 青年海外協力隊に参加、カリブ海沿いの国、中米ベリーズにて政府省庁のIT部門サポート活動を行いました。帰国後はベリーズでの強烈な異文化体験を消化するべく大学院にすすみ、「異文化コミュニケーション」というアプローチで民間企業社員の協力隊参加をテーマに修士論文を書きました。現在は大阪に戻り、企業の海外ネットワークプロジェクトの仕事に就き、またフリーランスとして日英翻訳の仕事をしています。

卒業してからの12年、興味の向くままに企業、海外、大学院と活動の場を移してきましたが、そうした経験を通して実に多様な人たちとの出会いがあり、私の財産となっています。様々な分野の人との出会いを通して少しずつ自分の「得意」と「好き」が見えてきたようです。自身の経験からも興味を感じるものがあればできる方向に環境をもっていく、そして実際にやってみて体感することが大切だと思います。“Never Too Late”、大学院の教授からいただいた言葉で、私のモットーでもあります。自分で選び経験したことというのは、なにひとつ無駄にならないと実感しています。

プロフィール

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 2000年3月 | 文学部英文学科卒業 |
| 2000年4月 | 日本アイ・ビー・エム(株)入社 |
| 2003年12月 | 青年海外協力隊派遣 中米ベリーズにてIT支援活動 |
| 2009年3月 | 立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科修士課程修了 |
| 2010年1月 | パナソニックグループIT企業のネットワークプロジェクト管理業務 |



現在は、ITプロジェクト管理の仕事と在宅翻訳をしています。